

★キーパーズトーク「ゾウ」★

飼育スタッフが担当動物のおはなしをするキーパーズトーク

今回は、「ゾウ」どんなおはなしが聞けるかな？

ゾウは、大きく分けるとアフリカゾウとアジアゾウ。違いは、アフリカゾウの方が、全体的に大きく、耳が大きい。そして、背中。アフリカゾウは凹んでいて、アジアゾウは、丸くなっています。当園の「ラン」と「サリー」は、どちらかわかりますか？

正解は、アジアゾウ！それでは、「ラン」と「サリー」の違い、わかりますか？顔に注目してみてください！「ラン」は、顔にコブがあります。今度、観察してみてくださいね

さあ、今回は、そんな、ゾウの生態などについて、飼育スタッフがわかりやすく解説します。

日 時：3月の土日・祝日 11時30分～11時45分頃

開催場所：「林床の世界」ゾウ運動場前

【チェーンソーアーティスト 林 隆雄 プロフィール】

山口県山口市在住。

2002年より、チェーンソーカービングを始める。

2015年・2016年 U.S.OPEN CHAINSAW SCULPTING CHAMPIONSHIP
メインカービング優勝

2017年 第17回日本チェーンソーアート競技大会
in 東栄(愛知県) メインカービング優勝

他にも、チェーンソーアートの大会で数々の賞を受賞。

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



いとうぶ
到津の森公園
Zoo

「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 3月号 2018年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」18年3月1日発行 通巻171号

春の企画展

3月17日～5月31日

『到津の森と木の動物たち ～チェーンソーカービング 林隆雄展～』

- 日時・期間 3月17日(土)～5月31日(木) 9:00～17:00
※5月3・4・5日は19:00まで開園
- 開催場所 姿見の池周辺を中心に園内各所
- 参加費 無 料 ※ 入園料は必要です

今年の春の企画展は、林隆雄氏による、
豪快、そして、繊細なチェーンソーカービング。

チェーンソーカービングとは、チェーンソー(木を切る道具)だけで、木材(主に丸太)から、彫刻製品を制作するものです。
そして、企画展のために、丸太から、動物たちが飛び出してきました。
題して『到津の森と木の動物たち』。
飛び出してきた木の動物たちは、姿見の池周辺を中心に、園内各所に展示します。

～実演決定～

- ★開催日：3月18日(日)と4月22日(日)
- ★時 間：両日ともに、13:00～14:00
- ★場 所：芝生広場

林 隆雄氏が、チェーンソーだけを使って、
一本の丸太から動物を生み出す！
なかなか、ご覧いただけないチェーンソーカービングです！
どんな動物が飛び出してくるかな？
ぜひ、ご覧にお越しください。

花暦 弥生

まだまだ浅い春ですが、頬に当たる風の中にこれまでと違う温かみに気づくこの頃。木々の枝先の新芽の生命力に元気を頂けるようです。

路傍の野草たちなら、なおさらなのでしょう。

高低く地面にはいつくように冬を過ごした草たちが、むっくり頭をもたげてきた姿が園内でも目立つようになりしました。

その中でも私のお気に入りの一つがヒメウズ(キンポウゲ科)。

これは前年の秋には根元から葉を出します。

葉柄の先端の葉は3つに分かれそれがまた3つに分かれ、裏側は赤みを帯び、この形でじっと寒さに耐えています。2月中旬には新葉を出し、少しくすんだ緑は大変美しい。花茎も出し、少し紅がかった白い花はうつむき加減で趣のある可憐なものです。

一見5枚の花びらに見えるものはガク。その内側に5枚の花びらものぞいています。という、どんな姿を想像されるでしょうか。

じつは、山の麓や道端・石垣など人里近くに住む多年草で、見えていながら草丈10~20cm、花径5mm程度のほんの小さな多年草で、可愛い花をつけていても気付かれないまま、見過ごされてしまうでしょう。

それでもヒメウズのウズは鳥頭(トリカブト)の意。

全草に有害成分を含み、特に根塊には注意。また葉・茎の切り口から出る汁は触るとかぶれます。

ひっそりと咲く清楚なヒメウズは、うっかり手折らず眺めて愛でるだけがいいですね。

(管理棟2Fにヒメウズの写真を展示しております)

文:花咲くおばさん

森のなかま・ライオン

「あいかわらず仲良しです」

1月中旬より、ライオンのガラスビュー修繕工事のために、ライオンがご覧いただけない日が続いており申し訳ありません。

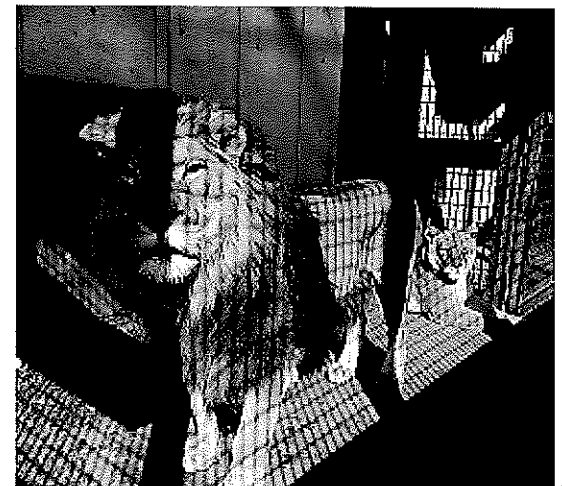
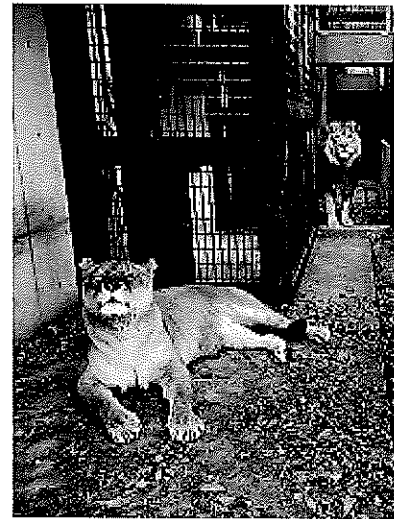
しばらくバックヤードで過ごす事になった2頭、バックヤードでも日中お互いが一緒にいられるようにしています。

最初の1週間くらいは、いつもの様子との違いに戸惑ったライオンが、遠くからキングの様子をうかがっていました。

お互いに少し距離を置いた感じに見えていましたが、日にちが経つにつれていつもの2頭の様子に戻っています。

じゃれあったり、ごろごろしたり、日向ぼっこしたりいつもの仲良しぶりを発揮してきました。

環境が変わって少し心配していましたが、元通りの2頭の様子に戻ってきたので一安心です。工事が終わったらまたこの仲の良い2頭に会いに来てくださいね。



飼育展示係 中上安紀